

# 施策評価シート

記載年月	令和3年9月
対象年度	令和2年度

## 1 施策の名称・めざす姿

施策名	027	自然・生態系の保護と回復				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署	生活環境部 環境政策課
	基本施策	01	自然・生態系の保護と回復			
めざす姿	浅間山、府中崖線、けやき並木や多摩川などの身近な自然環境が、次の世代に受け継ぐべき貴重な財産として認識され、生物多様性の保全とその恵みの持続可能な利用の推進が図られることで、豊かな自然の恵みを受けることができる自然共生社会が実現されています。					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	4,825,000	5,481,000	4,841,000	4,687,000	6,526,000	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	0	0	0	0	425,000	
市債	0	0	0	0	0	
その他	506,000	506,000	506,000	506,000	306,000	
一般財源	4,319,000	4,975,000	4,335,000	4,181,000	5,795,000	
予算現額	4,825,000	5,481,000	5,022,000	4,730,000	0	
決算額	4,479,015	5,283,572	4,314,152	3,535,378	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	0	0	12,000	0	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	470,700	558,300	515,400	859,800	0	
一般財源	4,008,315	4,725,272	3,786,752	2,675,578	0	
執行率	92.8	96.4	85.9	74.7	0.0	
<b>(人件費)</b>						
職員数	3.96	4.06	3.96	4.12	0.00	
職員人件費	30,419,231	31,879,810	31,806,542	31,882,768	0	
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0	0	
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	287,663	270,819	360,926	267,398	0	
総コスト	35,185,909	37,434,201	36,481,620	35,685,544	0	

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
自然観察会や体験学習へ参加したことがある市民の割合	8.4	実績	16.8	14.8	17.1	-	20
	%	達成率	84.0	74.0	85.5	0.0	
水辺の楽校に参加した児童等の人数	1,662	実績	1,087	522	130	-	2,000
	人	達成率	54.4	26.1	6.5	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

### 指標の分析

自然保護意識の普及・啓発することを目的に、自然観察会及び学習会を実施したが、一部イベントがコロナウイルスの影響により中止となり、参加機会が減少した。水辺の楽校は活動も周知され、例年多くの参加者を得ているが、小学校の総合学習の支援の実施校・実施回数の減少や、悪天候による中止などにより、基準値当初に比較して参加者が減少している。

## 4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	
達成できている点	多摩川において、水辺を活用した自然環境学習や体験活動を実施し、小学校の総合学習の時間への支援も行った。また、自然環境調査員による動植物の生息状況やその他の自然環境の把握に努めるとともに、自然観察会や緑化講習会等を開催し自然保護意識の啓発に努めた。	多摩川において、水辺を活用した自然環境学習や体験活動を実施し、小学校の総合学習の時間への支援も行った。また、自然環境調査員による動植物の生息状況やその他の自然環境の把握に努めるとともに、自然観察会や緑化講習会等を開催し自然保護意識の啓発に努めた。	水辺の楽校では小学校の総合学習の時間への支援を実施した。自然環境調査員による動植物の生息状況やその他の自然環境の把握に努めるとともに、自然観察会や緑化講習会等を開催し自然保護意識の啓発に努めた。	
達成できていない点	水辺の楽校の参加人数について指標の目標値と実績値に乖離があるため、参加者の増加に取り組む。市からの財政的な支援だけでなく、民間からの助成や協賛を受けたり、民間活力を活用するなど、安定的に財源を確保する必要がある。	水辺の楽校は国政選挙との日程重複や天候不順によるイベント中止、小学校の総合学習の時間の減少等により、参加人数が大幅に減少した。また、自然環境調査員会議による啓発イベントもコロナウイルスの影響により中止となり、開催機会の減少を強いられた。	新型コロナウイルスの影響により、水辺の楽校は一般向けイベントを全て中止とし、小学校の総合学習の時間の支援も実施回数が例年より減少した。自然環境調査員会議による啓発イベントも同様に一部イベントが中止となった。	

## 5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>(1) 生物多様性推進事業 府中市生物多様性地域戦略に基づき、東京農工大学と研究委託を締結し、府中市の生物多様性情報の整備を行った。また、生物多様性に関するパネル展示会を開催し、生物多様性の普及啓発に取り組んだ。</p> <p>(2) 自然環境調査員活動事業 市内における自然環境を保全するにあたり、市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査を行う市民等の活動を支援している。自然環境調査を市民に公開した。</p> <p>(3) 府中水辺の楽校 子ども達に多摩川の水辺を活用した自然環境学習や体験学習及び自然環境の啓発活動を行う。また、小学校の総合学習の時間の支援を行う。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>浅間山、府中崖線、けやき並木や多摩川など身近で貴重な自然環境を保全するために、今まで以上に市民意識の啓発や自然とふれあう機会を提供する必要がある。</p> <p>自然環境調査員や水辺の楽校スタッフの高齢化が進み、担い手の確保が必要である。</p> <p>水辺の楽校事業については、小学校の総合学習の時間の支援の充実や、天候等の影響に対するイベントの実施機会の確保に関する対策を検討していく。</p>
今後の展開
<p>自然環境調査員会議や水辺の楽校など市民や市民団体が主体となった自然保護活動を充実させる。多くの市民や市民団体が強い関心を持ち、自然観察会や体験学習への参加・実践できる仕組みを作っていく。</p>

## 6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
自然保護啓発普及事業	環境啓発ポスターコンクールの実施。 府中環境まつりにおける環境啓発及び自然保護啓発イベントの実施。 多摩川ツバメの集団ねぐら保全活動支援。 第58回運を観る会の実施。	環境啓発ポスターコンクールの実施。 府中環境まつりにおける環境啓発及び自然保護啓発イベントの実施。 多摩川ツバメの集団ねぐら保全活動支援。	環境啓発ポスターコンクールの実施。 府中環境まつりにおける環境啓発及び自然保護啓発イベントの実施。 多摩川ツバメの集団ねぐら保全活動支援。	環境啓発ポスターコンクールの実施。 府中環境まつりにおける環境啓発及び自然保護啓発イベントの実施。 多摩川ツバメの集団ねぐら保全活動支援。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	生活環境部 環境政策課			
事業種別	身近な自然環境について、市民に興味や関心を持ってもらうため、学習会を実施し啓発に努めた。また、環境啓発ポスターコンクールの開催を通じて、自然環境の保全に対する市民意識の啓発に努めることができた。環境まつりでは鳥の巣箱づくりや木の実細工など自然体験コーナー実施した。	環境啓発ポスターコンクールを通じて、自然環境の保全に対する市民意識の啓発に努めることができた。府中環境まつりにおいて、鳥の巣箱作りや木の実細工を行い、自然保護意識の啓発に取り組んだ。	環境啓発ポスターコンクールを通じて、自然環境の保全に対する市民意識の啓発に努めることができた。多摩川ツバメの集団ねぐら保全活動を市民団体と連携して実施し、生息環境の保全を図った。	
4か年事業費計(単位:千円)	2,200			
自然環境調査員活動事業	動植物の生息状況調査。学習会の開催。小学校の総合的学習支援。自然観察イベントの実施。府中環境まつり（自然体験コーナー）の企画・運営。自然環境調査員会議委員研修の実施。ホテルの飼育事業の実施。	動植物の生息状況調査。学習会の開催。小学校の総合的学習支援。自然観察イベントの実施。府中環境まつり（自然体験コーナー）の企画・運営。自然環境調査員会議委員研修の実施。ホテルの飼育事業の実施。	動植物の生息状況調査。学習会の開催。小学校の総合的学習支援。自然観察イベントの実施。府中環境まつり（自然体験コーナー）の企画・運営。自然環境調査員会議委員研修の実施。ホテルの飼育事業の実施。	動植物の生息状況調査。学習会の開催。小学校の総合的学習支援。自然観察イベントの実施。府中環境まつり（自然体験コーナー）の企画・運営。自然環境調査員会議委員研修の実施。ホテルの飼育事業の実施。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】
所管部署	生活環境部 環境政策課			
事業種別	自然環境調査員による動植物の生息状況やその他の自然環境の把握に努めるとともに、自然観察ウォーキングツアーや自然環境学習会等を開催し、自然保護意識の普及啓発に努めた。	自然環境調査員による動植物生息状況調査を継続的に実施し、市内の生物多様性情報の収集・整理を推進することができた。ウォーキングツアーや自然観察会など、市民が気軽に参加できる自然保護意識の啓発イベントを実施し、多数の参加者を得た。	自然環境調査員による動植物調査を継続的に実施し、市内の生物多様性情報の収集・整理を推進することができた。自然観察ウォーキングツアーの開催や小学校の総合的な学習の時間の支援を通じて市民の自然保護意識の啓発を図った。	
4か年事業費計(単位:千円)	5,368			
【進捗状況】		【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

## 7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 2年度		R 3年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 自然保護啓発普及事業	30		762,000	548,711	699,000	自然保護や緑化への意識高揚を図るため、環境啓発ポスターコンクールなどを開催する。	B	1
2 自然環境調査員活動事業	30		1,154,000	881,517	2,130,000	身近な自然環境を保全するにあたり、市内の動植物の生息状況及びその他の自然環境を調査する。	B	1
3 自然環境保全活動促進事業	30		2,074,000	1,489,872	1,947,000	多摩川など水辺を活用した自然環境学習や体験学習を実施する。市民の緑化活動を支援するための事	B	1
4 生物多様性地域戦略推進事業	20		697,000	615,278	1,750,000	市内における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。	B	1
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			4,687,000	3,535,378	6,526,000			